



独立行政法人 和歌山病院
国立病院機構



〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
Tel 0738-22-3256 Fax 0738-23-3104
ホームページ <http://www.wakayama-hosp.jp/>

和歌山病院 ニュース

第48号

2016年9月発行

【当院の理念】

職員一同は、患者さんの権利と立場を尊重し、地域と密着した「安心と信頼をいただける病院」をめざします。

【基本方針】

- 一 国が担うべき政策医療である結核、重症心身障害、神経難病の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 二 呼吸器疾患、神経系疾患、胸部・血管外科の専門病院として診療に力を注ぎます。
- 三 開放型・地域医療支援病院として地域医療の質の向上および地域連携の充実に貢献します。
- 四 臨床研究・臨床試験に積極的に取り組み、医療の質の向上に貢献します。

【患者の権利と義務】

◇患者さんの権利

1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
3. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 治療法を選択できる権利があります。
5. 病気の診断・治療・予後などに関して、他の医師の意見（セカンドオピニオン）を聞くことができる権利があります。
6. 個人情報を守られる権利があります。
7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。

◇患者さんの義務

1. ご自身の健康に関する情報を、できるだけ正確にお伝えください。
2. 検査・治療は説明をうけ、十分な理解と納得の上で受けてください。
3. 他の患者の治療や医療提供に支障を与えないように配慮してください。
4. 医療費の支払い請求を受けたときは、遅滞なくお支払いください。

※和歌山病院は、「患者の権利宣言」（リスボン宣言）を尊重します。



目次

2. 和歌山病院
地域医療連携室からのお知らせ
3. 新任のご挨拶
外科医師 中村 理恵
神経内科医師 竹村 学
サマーコンサート
4. ヘリポートが完成!!
5. 呼吸器検診のおしらせ
6. 乳がん検診について (28年度)
第12回 市民公開講座を開催しました
経営企画室長 奥地 博
7. 防犯訓練を実施しました。
8. 医の門 vol.35
最近の肺癌の診断と治療
呼吸器内科医 東 祐一郎
10. 外来診療担当表・職員募集案内

和歌山病院 地域医療連携室からのお知らせ

MSW 山下 彰一



7月中旬に、地域医療連携室が引っ越しをいたしました。今までは、受付の横にある事務所内にあり、患者さんやケアマネジャー、施設の方を招きづらい場所にありました。引っ越し後は、旧1病棟入口の前に移り、カンファレンスルームや面談室も近くに設けていますので、以前よりは格段に利用していただきやすくなりました。患者さんや家族さんにとっても面談室で話ができ、個人情報を守りやすい形になっており、騒音が気にならず情報共有を行いやすいようになりましたので、どんなところになったのかと一度、覗いていただければと思います。

そして、引っ越しと同時に、地域医療連携室には、MSW（メディカルソーシャルワーカー）2名に加え、退院調整看護師1名、重症心身障害在宅支援看護師1名が増え、午後からは、結核相談支援センターの看護師も一緒に仕事をしています。今後は、より患者さんの入院生活の支援や、自宅・施設に退院するための支援など、一人一人の「どうしたらいいの?」という言葉

に寄り添える環境を作っていきたいと考えています。お困りごとがあれば、入院中、外来通院中を問わず一度声を掛けていただければと思います。

もう1つ、お知らせがあります。それは、当院の地域医療連携室専用の車が導入されたことです。患者さんが退院された後、患者さん宅などに看護師が訪問できるようになりました（対象の方は別枠に記載）。家族さんより、医療処置がうまくできるか心配だ、在宅酸素がきちんと使用できるのかといった不安を、少しでも和らげることができるのではないかと考えています。訪問看護師との情報連携も密にでき、今まで伝えきれなかった細かな情報も共有でき、より連携強化が出来るのではないかと期待しています。もし、利用できるか聞いてみたいと思われる方は、地域医療連携室までご相談いただければと思います。



※退院後、看護師の自宅訪問対象の方

- ①在宅悪性腫瘍等患者指導管理若しくは在宅気管切開患者管理指導を受けている状態にある者又は気管カニューレ若しくは留置カテーテルを使用している状態にある者
- ②以下のいずれかを受けている状態にある者
 - ・在宅自己腹膜灌流指導管理
 - ・在宅酸素療法指導管理
 - ・在宅成分栄養経管栄養法指導管理
 - ・在宅人工呼吸器指導管理
 - ・在宅自己疼痛管理指導管理
 - ・在宅血液透析指導管理
 - ・在宅中心静脈栄養法指導管理
 - ・在宅自己導尿指導管理
 - ・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理
 - ・在宅肺高血圧症患者指導管理
- ③人工肛門又は人工膀胱を設置している状態にある者
- ④真皮を超える褥瘡の状態にある者
- ⑤在宅患者訪問点滴注射管理指導料を算定している者

新任のご挨拶

外科医師 中村 理恵



7月より、毎週火曜日、乳腺外来をさせて頂くことになりました中村理恵です。昨年、有名人の方々の乳がん報道が続きました。また、ご家族やお友達の中にも乳がんが見つかったり、現在も治療中の方がいらっしゃる方はたくさんいらっしゃると思います。『検診をうけてみたいけど、マンモグラフィーって痛いのかな?』と不安な方、『超音波検査とどちらがいいのかな?』など迷われている方、是非一度受診してみてください。なるべく負担の少ない方法で、検診を続けていけるようお手伝いします。よろしくお願いします。

新任のご紹介

神経内科医師 竹村 学



京丹後市立弥栄病院に勤務していらっしゃいますが、下記の診察予定で外来診療を行っていただきます。よろしくお願い申し上げます。

2016年

8月17日、18日

9月14日、15日

10月12日、13日

11月9日、10日

2017年

1月4日、5日

2月1日、2日

3月1日、2日、29日、30日

サマーコンサート

専門職 伊藤 竜馬

平成28年8月24日(水)に当院の5階療育指導室にてサマーコンサートを開催いたしました。初めての試みとして、日高高等学校 ブラスバンド部を招き、入院患者さんを対象に開催いたしました。当日は、患者さんや付き添いのご家族を併せて、50名ほどの方に来ていただきました。

日高高等学校 ブラスバンド部は、「キューティーハニー」や「in the mood」などテレビやCMでおなじみの曲を5曲演奏していただき、アンコールにも応えていただきました。患者さんも学生さんの演奏に聴き入り、楽しんでおられました。

来年も患者さんに喜んでいただけるように、サマーコンサートを開催できたらと考えています。



ヘリポートが完成!!

【併せてドクターヘリテスト飛行並びに搬送訓練を行いました】

経営企画室長 奥地 博

予てより整備中でありましたヘリポートが7月20日に完成いたしました。

申請手続きを経て、実際のヘリポート運用に関して、和歌山病院ドクターヘリ運航要領に問題点や不備がないかを確認する上でもよい機会であると捉えて和歌山県立医科大学と調整を行い、ドクターヘリのテスト飛行並びに日高広域消防本部との搬送訓練を計画致しました。

当日、天候にも恵まれ、日高広域消防本部からのヘリポート利用の要請から始まり、院内放送やヘリポート周辺の安全管理、搬送患者の受渡し等特に問題なく計画どおりに訓練を終えることが出来ました。

訓練終了後には、ドクターヘリの見学や活動の現状について細かく説明をいただきドクターヘリに同乗する医師からは、今後、呼吸器疾患の患者について当院に搬送することも選択肢の1つと考えているとの言葉があり、院内・院外の救急患者を搬送する場合や災害発生時にも使用出来る点において、地域医療へ更なる貢献を行いたいと考えています。



呼吸器検診のおしらせ

平成25年和歌山県の肺・気管・気管支がんの死亡率(人口10万人あたり)は全国ワースト1です。検診受診率も全国的にみて、順位は下位です。病気の大半は急に発症するものではなく、徐々に進行します。ご自身のため、ご家族のため定期的な検診で、安心の予防を心がけましょう。



呼吸器検診



肺がん検診：胸部CT(低線量)

費用 3,240円 (税込) オプション：喀痰細胞診検査
(別途費用要)



COPD検診：胸部CT(低線量)

(慢性閉塞性肺疾患検診) **呼吸機能検査**

費用 4,320円 (税込)



受付時間：平日 8:30~17:00

事前に電話相談いただければ

17:00~19:00でも検査可能です。

※事前予約にて肺がん検診については**土・日・祝日**も対応可能です

※事前予約にてCOPD健診については**第1及び第3 土・日**も対応可能です (平成28年7月以降)

お問い合わせ、ご質問は：TEL 0738-22-3256 経営企画室まで



国立病院機構 和歌山病院

乳がん検診について (28年度)

乳がんは30歳代から50歳代の働き盛りの女性のがん死亡原因のトップです。年間57000人が乳がん罹患し、約12000人の方が亡くなっています。乳がんは早期発見すれば生存率の高いがんの1つで、定期的な乳がん検診が重要です。

外来(水曜日)に予約を取っていただければ、マンモグラフィを女性技師が、視触診・エコーを女性医師が行う乳がん検診が受診できます。御坊市・美浜町・日高町・日高川町・みなべ町・印南町に居住されており、かつ行政からハガキ等で通知を受けられた方が対象です。(任意で検診をご希望の方も受け付けております)

検診の流れ

(事前に) 外来予約 直通: 0738-22-3256

↓
(予約日) 外来受付

↓
マンモグラフィ撮影 (女性技師担当)

↓
外来受診 (女性医師担当) 視触診・エコー

※お電話の際は「乳がん検診受診希望」とお伝えください

この度、7月23日(土)に 市民公開講座を開催いたしました。

経営企画室長 奥地 博

前回までは院外に出向き会場を借上げ行って参りましたが、今回は、新病棟のPRも兼ねて1階多目的室で講演を、1階エレベーターホールでは健診コーナーや乳がん・栄養相談コーナーの会場を設け、併せて子供づれの若いお母さんでも安心して講演が聴けるよう、臨時託児所も設置し開催いたしました。

当日は大変暑い天候ではありましたが、77名の多くの皆様方にご参加いただき、臨時託児所では2名の利用者がありました。

まず、講演に先立ち南方院長よりご挨拶をいただき、引き続いて当院菊川撮影透視主任から「マンモグラフィ健診の役割」そして和歌山県立医科大学附属病院助教の宮坂先生から「乳がんの治療について」と題して講演を

行いました。

講演中は、皆さん熱心にお話を聞きメモをとっていました。

健診コーナーについては、今回、77名の多くの皆様が参加していただいたため、エレベーターホール内に収まらず廊下に参加者が溢れる光景が見られました。

(今後、機の配置等改善に向けて検討いたします)

また、講演の内容から若い年齢層の方の参加が多いのかなと思われましたが、年齢層の高い方が多く見られました。

今後、更に多くの皆様に参加(目標100名)していただけるよう講演内容を検討して参りますので、よろしくお願い致します。



宮坂先生



菊川撮影透視主任



防犯訓練を実施しました。

管理課

当院4階病棟に刃物を持った不審者が侵入したとの想定で、防犯訓練を実施しました。当日は御坊署員が犯人役に扮し、迫真の演技で刃物を振り回しながら病棟内を徘徊、駆けつけた看護師らが必死に応戦、非常事態に備えての対応の難しさを実感しました。

訓練後、御坊署員が講評し、「刃物を持っている犯人を無理に取り押さえようとはせず、警察が駆けつけるまで時間を稼いでください。」とのアドバイスを受けました。また、刺股の使用方法や護身術の指導も受けました。

不審者への対応は、実際しようとしても想像以上に難しく、患者さんを守ることはもちろん、職員の安全も大切で、今後も定期的に訓練を行う必要があると感じました。



最近の肺癌の診断と治療

呼吸器内科医 東 祐一郎

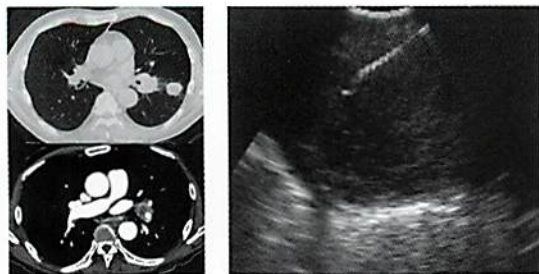
我が国では肺癌の罹患率・死亡率はともに上昇しており、死亡率は男性では1位、女性では大腸癌に次いで2位となっています。近年肺癌の診断や治療は進歩を遂げており、その一部を紹介します。

肺癌の診断には胸部X線や胸部CT、PET、気管支鏡などの検査が用いられます。特に確定診断には気管支鏡による組織の採取が重要です。気管支鏡では、超音波プローブを用いて病変を描出する気管支腔内超音波内視鏡（EBUS）が普及しています。肺門や縦隔のリンパ節の針生検を行うEBUS-TBNAでは、原発巣の生検が困難な症例でもリンパ節生検で診断をつけることができます。超音波プローブとガイドシースを組み合わせたEBUS-GSという方法は、末梢の小さな肺癌を超音波で描出し適確に生検することが可能となりました。またバーチャル気管支鏡ナビゲーションを用いることで、実際の気管支鏡画像とコンピュータで作られた画像を照らし合わせながら適切な気管支の枝を選択することが可能となり、EBUS-GSの診断率の向上に貢献しています。



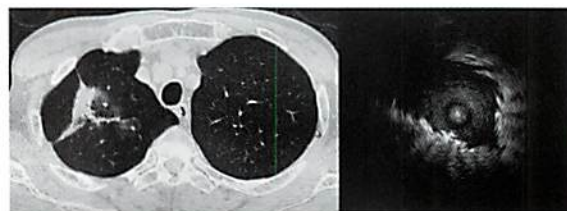
肺癌の治療では、非小細胞肺癌を標的とした分子標的治療や免疫療法がめざましい進歩を遂げています。分子標的治療ではEGFR遺伝子変異陽性肺癌を対象としたEGFR-TKIとEML4-ALK融合遺伝子陽性肺癌を対象としたALK阻害薬がその代表です。

気管支鏡:EBUS-TBNA



左肺門リンパ節(#11L)腫大に対し、EBUS-TBNAを施行
⇒ 扁平上皮癌

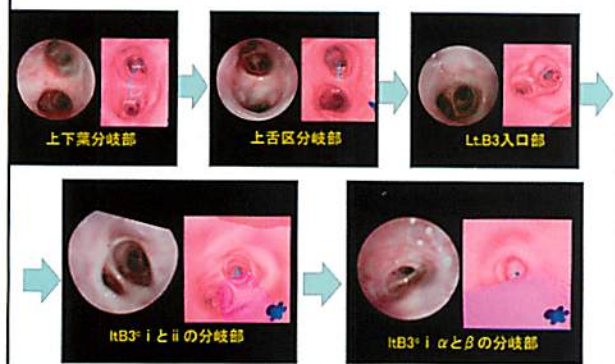
気管支鏡:EBUS-GS



右B1aよりradial EBUSを挿入し、within
⇒ 腺癌

EGFR-TKIは従来第1世代のゲフィチニブ・エルロチニブが用いられていましたが、第2世代のアファチニブが2014年に、第3世代のオシメルチニブが2016年に承認されました。アファチニブは第1世代のEGFR-TKIを凌ぐ効果が期待でき、オシメルチニブは他のEGFR-TKIに耐性を獲得した肺癌に対しても効果が期待で

気管支鏡:VBN



きます。またEGFR-TKIと抗癌剤の併用療法の試験ではEGFR-TKI単剤と比べ優秀な成績が報告されつつあり、今後の試験の結果次第では標準治療になりうるものと思われます。

ALK阻害薬では第1世代のクリゾチニブの他に第2世代のアレクチニブ、セリチニブが使用可能になっています。現在のガイドラインではクリゾチニブが第一選択になっていますが、アレクチニブとクリゾチニブの直接比較試験であるJ-ALEX試験においてアレクチニブがクリゾチニブに比べ非常に優秀な成績をおさめました。アレクチニブはクリゾチニブを越える効果が期

待できるうえに副作用も軽微であり、今後ALK陽性肺癌の第一選択となります。

免疫療法では2015年に抗PD-1抗体であるニボルマブが承認されました。免疫チェックポイント阻害薬と呼ばれ、癌の免疫逃避を抑制することでT細胞による癌細胞の排除を助けるといった働きをする、今までの薬剤とは全く異なる薬剤です。非小細胞肺癌の2次治療の標準治療であるドセタキセルとの比較試験で優れた成績をあげ、現在は非小細胞肺癌の2次治療の標準治療となっています。また、1次治療や他の薬との併用療法など様々な臨床試験が進行中であり、今後さらにその役割は大きくなると思われます。

他にも様々な免疫チェックポイント阻害薬（抗PD-1抗体、抗PD-L1抗体、抗CTLA-4抗体）が開発されており、また免疫療法と他の薬剤との併用療法も試験が進行しています。免疫療法の登場により、肺癌の治療は現在大きな進歩を遂げており、今後さらなる治療法の開発と治療成績の向上が期待できます。



| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|---------|-------------------|------------------------------|----------------------------|----------------------------|---------------------|----------------|
| 外 科 | 担当医 (予約のみ) | 岩橋 正尋 | 宮坂 美和子 (乳腺外来) | 岩橋 正尋 | 有本 潤司 | |
| | — | 中村 理恵 (乳腺外来) | — | — | — | |
| 呼吸器センター | 初診 | 柳本 立太 | 南方 良章 | 東 祐一郎 | 小野 英也 | 川邊 和美 |
| | | 東 祐一郎 | 佐藤 孝一 | 村上 恵理子 | — | 佐々木 誠悟 |
| | 再診 | 駿田 直俊 | 小野 英也 | 柳本 立太 | 赤松 啓一郎 | — |
| | 専門外来 (午後) | — | — | 睡眠外来 駿田(再診) | 禁煙外来 乾 宏行(第1・3週) | 睡眠外来 駿田(初診) |
| — | | — | COPD外来 担当医 | 赤松 啓一郎 (第2・4・5週) | — | |
| 内 科 | 楠山 良雄 (予約再診のみ) | — | 楠山 良雄 (予約再診のみ) | — | — | |
| | 駿田 直俊 | 南方 良章 | — | — | 川邊 和美 | |
| 神経内科 | 午前 | 物忘れ外来 河本 修 (第2・4週予約のみ) | 河本 純子 (第2・4週) | — | 河本 純子 | |
| | | — | 竹村 学 (初診) 診察日は*を参照 | 竹村 学 (初診) 診察日は*を参照 | — | |
| 午後 | 阪田 麻友美 | — | 竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照 | 竹村 学 (再診のみ) 診察日は*を参照 | — | |

○受付時間 午前8:30～11:30

○再診については原則、予約制にしております。
(急患についてはこの限りではありません)

*注意：神経内科 竹村医師の診察予定日

| | |
|------------|-----------------|
| 2016年 | 2017年 |
| 8月17日、18日 | 1月4日、5日 |
| 9月14日、15日 | 2月1日、2日 |
| 10月12日、13日 | 3月1日、2日、29日、30日 |
| 11月9日、10日 | |
| 12月7日、8日 | |

看護師募集中！(①常勤・②非常勤)

- 募集人数：①②ともに若干名
- 必要資格：①②ともに看護師免許
- 勤務時間：①1日7時間45分の交替制勤務(夜勤有)
②応相談(1週最大32時間まで)
- 休日：①4週8休制度②勤務内容により応相談
- 勤務内容：①病棟看護業務
②夜勤専従、病棟・外来日勤等応相談
- 給与：①基本給：194,200円～
(短大3卒の場合)※各種手当有
②時給：1,450円※交通費別途支給



院内宿舎・保育所あります！

独立行政法人国立病院機構 **和歌山病院**
〒644-0044 和歌山県日高郡美浜町和田1138
広報委員会

<お問い合わせ>

TEL 0738-22-3256 (代表)

※夜間・休日は 0738-23-1506

FAX 0738-22-2008 (地域医療連携室)

<http://wakayama-hosp.jp/>